

アベレージラリー 初参加 初心者の方へ 必ずお読み下さい。

当日受付で確認される物（忘れてくると出場できません）

運転免許証 車検証 自賠責保険

当日車検で確認される物（装備が無い場合出走できません。）

赤色灯（赤色発光する携帯ランプならなんでも可） 三角停止板（1個）

灯火類の点検を行いますので球切れなどないように事前点検ください。

車検時は、受付で渡されたゼッケンを両側面と車両背面に剥がれないように貼付。

準備が出来ましたらボンネットを開けて待機してください。

持参品（必須）

筆記具（ボールペン、カラーペン、蛍光ペン、シャープペンシル）

車内灯 懐中電灯 A4クリップボード 両面テープ 付箋

ガムテープまたは養生テープ 電卓 電波時計 夕食・夜食・おかし・飲料

防寒着（万一の車外待機に備えて真冬の装備を）

持参品（強く推奨 使用しなくても参加は出来ますが、ある方がより楽しめます。）

アンドロイド タブレット（スマホでも可、ただし画面は大きい方が便利）

グーグルプレイなどで、以下のアプリをダウンロードしておいてください。

検索 ラリコンミニ

ダウンロードされた方は、INFO→ラリコンミニについて以下の説明をお読みください。

ラリコンアプリを利用した、アベレージラリーの走り方、楽しみ方が掲載されています。

そもそも、アベレージラリーとは

①主催者が準備したコースについて、コマ地図通りに走行し、主催者が設定した速度で走行します。

速度は、コマ地図や指示書に書かれた通りに、適宜変更して走行します。

速度変更の場所の事を、P C（パソコン）と呼びます。

②主催者が設定したチェックポイント（C Pと呼びます。隠されています。）に到着した際、到着時間を記載し

たチェックカードを受け取ります。コントロールシートに貼り付けて管理します。

（コントロールシートは受付で配布します。チェックカードと共に、絶対に無くさないように。）

③セクション1終了の際、正解表を受け取ります。コントロールシートに貼り付けたチェックカードを確認し、

チェックポイントの所要時間を計算。正解表と比較して自己採点し、コントロールシートに

記載して、提出します。提出時間が決められているので遅れない事。

また、計算ミスも減点対象となるので注意する事。

④セクション2のスタート時刻になったら、各自でスタートします。

セクション1と同様に走行し、最終チェックポイントに向かいます。

⑤最終チェックポイントでは、自分の到着正解時間を計算（予想）して、オフィシャルに

正解時間を申告して、チェックカードを受け取ります。（申告チェックといいます）

⑥正解表を受け取り、③と同様の処理を行って、時間内に提出します。

以上で、アベレージラリー完走となります。

☆ミスコースした場合は、無理のない様に元のコースに復帰してください。

到着予定時間を15分以上経過するとC Pが無くなっている場合があります。→リタイア届け・連絡

絶対に無断で帰宅しないように。電話連絡の上、スタート会場に戻ってください。

連絡は、競技長 たつた 090-4197-6639

MAP CP について

主催者は、1メートル単位で正確に距離を測定してラリーをつくっています。

走行ラインはキープレフトで、自動車学校で習う通りの走らせ方です。

ショートカットしたり、道の真ん中を走行したりすると、コマ地図記載の距離と自車のトリップ距離との誤差が大きくなります。結果、正解時間が合わなくなりますし、ミスコースの原因にもなります。

主催者と同じような走らせ方をしても、タイヤ径や駆動方式などにより、車ごとに距離は違うことがあります。

この、主催者の計測車両と、自車両との距離の誤差を修正するために、ラリーのスタートまでに設定されるのが、MAP CP です。

MAP CP に到着しますと、トリップメーターの距離を記録します。

(ラリーコンミニの場合、CPボタンを押します。)

記録し(ボタンを押し)たら、後続車の為に、その場から少し先まで移動します。

ラリーコンミニなどの場合は入力処理します。この場合もメモはとっておいてください。

自車の距離÷主催者の距離 = 誤差比となります。これを補正係数 = K値と呼びます。

以後、コマ地図に記載された主催者の距離に、このK値をかけた値が、自車のトリップ距離になります。

(ラリーコンミニでは、入力後、自動計算されますので、表示された通りに走行します。)

主催者の距離よりどのくらい、長い距離、または短い距離が出ているか、把握しておく事が重要です。

また、山間部では距離は狂いやすく、ラリーコンミニなど、GPSトリップを使用している場合

トンネル内などではかなり距離がくるってしまう事にも注意が必要です。

車両搭載のトリップメーターとの差も適宜確認しておいた方が良いでしょう。

走行中の注意

どのような状況でも、暴走は厳禁です。山道でも対向車や動物の飛び出しがあります。

コマ図通りに、キープレフトで走行。(だんだん緩んできます。注意。)

目標物や地図は、ドライバーとナビゲーター二人で探す。

一時停止や信号で止まった時間を数えながら、速度を調整する。

同じ速度で長い距離を走っているときに、換算表などでチェックする。

(距離を読んでもらい、進度を確認する。)

自車を追い越そうとする車がある場合は、必ず道を譲ってください。

万一の事故、故障等のトラブルの場合は、先ず競技長に電話連絡。次いで救急、警察へ連絡。

※受傷者がある場合は、救急、競技長、警察の順で御願います。

チェックでは

笛を吹かれた時間を見て、○号車、○時○分○秒と申告。

ラリコンミニでは、C P ボタンを押し、時間を確認。

(チェックカード記載の時間と、ラリコンミニの時間を比較し、異なっていれば修正入力)

P Cを見落としてもくよくよせずに、絶対にミスコースの無い様に。

完走すれば必ず順位がつきます。自分がやるミスはきっと他人もやってます。

最後までケンカしないで、仲良く走行、ゴールを目指してください。

こもの福王アベレージラリー2019

競技長 竜田 健